

国鉄労働組合(国労)とは

国労には70年の歴史があります

私たち国鉄労働組合(国労)は、1946年2月27日に結成されました。当時の国鉄職員は50万人と言われ、その9割が参加していました。

国鉄からJRへの分割民営化により、組織人数は少なくなりましたが、労働者の権利獲得・労働条件の改善、市民の生活向上や世界平和を目標とする「国労要綱」を持ち、職場や地域で運動を展開してきました。

現状として、多くの方が、労働組合とは何なのか、働く者のために何をしてくれるのか、正直、分からないと思います。

しかし、私たちの身の回りの労働環境を考えた場合、自分たちは恵まれている」と思えることが、少なからずあるのではないのでしょうか。現在の、労働条件の多くは、労働組合が、長い歴史を持つ運動の中で、学習し議論を行い、そして、会社に要求することによって勝ち取ってきたものです。

もし、労働組合が無かったら・・・どうなると思いますか？
今後も、国労は労働者を主人公として、労働者の威厳と権利を守り、安心して暮らせる社会を目指した運動を続けていきます。

全国組織としての魅力

ご存知の方も多いかとは思いますが、国労の組合員は、九州だけではなく大阪や東京、北海道に至るまで、全国に存在します。

国労は、年に数回、全国の仲間同士集まり、各職場の問題点や組織拡大に関する報告を行い、今後の運動をどう盛り上げていくかという課題に取り組んでいます。また、運転士や車掌といった、職種の別の集会では、現場で起こっている問題点に関する情報等を共有しており、他会社で先行して行われている施策を知る機会にもなります。

青年部においては、もっと学習したい!という私たちの要求が通り、若手のみで、労働基準法に関する勉強会も行われています。このように、広い視野を持って学習していくことで、個人のレベルでも、考える力、様々な問題に対処する力が養われていきます。

健康診断(医学的を含む)の超勤対応は、国労が長年要求していたものです。職場の問題があれば、国労組合員まで。



全国の職場でも、さまざまな問題がありますね。



若い力

第 103 号

2018年 10月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515